

## ホソバオグルマ

*Inula britannica* L.  
subsp. *linariaefolia* (Turcz.) Kitamura

キク科  
Compositae

### カテゴリー

大分県 II  
環境庁 II

選定理由	国内での分布域は狭いが、県内の生育地は散在し、個体数も少ない。湿地開発や植林などで生育環境が悪化し、生育地の減少や消滅が懸念される。
県内分布	耶馬溪・国東丘陵地、日田低地・丘陵地、津江山地、玖珠丘陵地・山地、九重火山群、由布・鶴見火山群、大分川・大野川丘陵地、豊後水道後背地域、大野川上流域、(祖母・傾山地)
分布域	本州 九州(福岡・佐賀・熊本・大分) 朝鮮半島 中国・中国(東北部) シベリア
生育環境	丘陵地や低山地の湿地、低地の草原。
現 状	しばしば群生している所もみかけるが、環境の悪化で衰退した所がある。「祖母・傾山地」の標本はあるが、その生育地は把握されていない。
備 考	大陸系遺存植物。

## カセンソウ

*Inula salicina* L.  
var. *asiatica* Kitamura

キク科  
Compositae

### カテゴリー

大分県 II  
環境庁 掲載なし

選定理由	県内の生育地は点在し、個体数は少ない。人里近くの生育地では、道路工事などの土地改変や路辺の草刈、植生遷移の進行などによる環境変化で、生育地の減少や消滅が懸念される。
県内分布	耶馬溪・国東丘陵地、姫島・国東海岸、豊後水道域、大野川上流域
分布域	北海道 本州 四国 九州(福岡・大分・宮崎) 朝鮮半島 中国(東北部) 樺太
生育環境	低地や丘陵地の草地。
現 状	草原や林縁に生えるため、植生遷移の進行による消長がみられ、低地では消滅する生育地が生じている。
備 考	九州は、分布の南限域にあたる。

## タカサゴソウ

*Ixeris chinensis* (Thunb.) Nakai  
subsp. *strigosa* (Lév. et Van.) Kitamura

キク科  
Compositae

### カテゴリー

大分県 IB  
環境庁 II

選定理由	県内の生育地は希で、個体数も少ない。低地の人里近い所では、土地改変や植生遷移の進行で消滅した生育地があり、絶滅の危険性が高くなっている。
県内分布	中津・宇佐低地、姫島・国東海岸、別府湾沿岸域、豊後水道域、大野川上流域
分布域	本州 四国 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・鹿児島) 朝鮮半島
生育環境	低地や丘陵地の草地。
現 状	把握された生育地はかなりあるが、どの生育地も生育環境が悪化しており、消滅した所もある。
備 考	大陸系遺存植物。